

子育ての ココが聞きたい！

VOL. 7



抱っこして



子どもにとって、大好きな家族とスキンシップをとり、喜び安心することは当たり前のことです。大人も子どもとのスキンシップは何にも代え難い大切なものですね。

しかし、子どもがずっと抱っこを求めてきたら、どうしようか悩むことがあるかもしれません。

例えば、珍しく遠くの公園まで遊びに来たのに、遊具で遊ばず「抱っこ、抱っこ」とせがまれた。抱っこはしてあげたけどずっと離れなくて「せっかく色々な遊具があるのに遊ばないの？」と思ったり、周りから「あの子はずっと抱っこで、全然遊ばないね」と思われていないかと気になってしまったり。

ひと昔前には「抱きぐせ」という言葉が使われ、抱っこばかりしてはいけなと、否定的に言われることがありました。しかし、現在の発達心理学では、抱っこが子どもの成長に良い影響を与えていることが分かり、肯定的に受け入れられています。子どもが抱っこを求めるのは、不安や悲しみなどのマイナスの感情を抱いた時が多いです。何か不安になった時、家族などの信頼できる大人とくっついて心を落ち着かせ、安心感を得ます。信頼できる相手との触れ合いで不安を解消することを“アタッチメント”といいます。アタッチメントを繰り返していくうちに、子どもに安心の見通しがつくようになります。

先日、子育て支援センターに歩き始めたばかりの女の子がお兄ちゃん、お母さんと一緒に遊びに来ました。お兄ちゃんは慣れた様子で好きなおもちゃで遊び始めましたが、女の子はお母さんから離れずべったりとくっついてます。お母さんが少し離れただけでも大泣きです。女の子は来年度から保育園の入所が決まっており、お母さんは「今の様子だとこの子が保育園に通えるか不安」と話していました。

そのような話をしていると、女の子がお母さんの膝から立ち上がり、友達が遊んでいる様子を覗き始めました。しかしすぐにお母さんに「ぎゅっ」とくっついてしまいます。しばらくすると立ち上がる。そしてまた「ぎゅっ」……そんなことを繰り返すうち、少しずつお母さんから離れ、最後には支援センターの先生のところへ一人で行き、笑顔を見せていました。

このように、子どもは信頼できる人を中心に、冒険と挑戦を繰り返しながら一人でいられる時間を増やしていきます。「この人がいれば安心」と感じることで子どもの“心の基地”ができます。安心の見通しがたつと、不安から解放され、大人から離れても行動することができるようになっていきます。

子どもが求めているのに必要以上のスキンシップをとることはよくありませんが、子どもが抱っこを求めた時は、必ず何か子どもの思いが隠れているのだと思い、ぎゅっと抱きしめ、一緒に“心の基地”を築いていきましょう。



子育て支援センターだより（4月）

令和6年4月から子育て支援センターが城山保育園内に移転しました。
子育てが楽しいと感じていただけるような「ほっ」とできる子育て支援センターを目指しています。
お気軽に遊びに来てください。

【のびのび広場】※午前10時～11時30分
16日（火）おはなし会
23日（火）園庭あそび
30日（火）折り紙あそび

利用時間 毎週火・木・金（祝日は除く）
午前9時45分～午後2時45分
問合せ 子育て支援センター ☎82-0601